

## 平成19年度 南菅こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	南菅こども文化センターの管理運営に関すること 南菅小学校・西菅小学校小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	地域の拠点施設として有効活用を図るために、関連機関の会議に積極的に参加し、情報の共有や信頼関係の構築に努めた。地域住民の参画を推進し、地域人材の活力を有効に生かした地域特性のある事業展開を図った。また、こども文化センター、わくわくプラザに意見箱を設置し利用者のニーズ把握に努めた。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	利用者の声に耳を傾け、積極的に意見を聞き、事業に反映できるようにした。また、子育て支援への取組に向け、乳幼児ルームの整備・遊具の充実・衛生管理に努めた。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	事業計画に基づき、四半期ごとに地域住民にも楽しんでいただけるコンサート実施した。また運営協議会と連携し、「夏の終わりのこども祭り」を行い、200人の参加を得た。新たな事業として、腹話術やジャグリングなど、誰でも楽しめる行事を開催した。毎月の実施事業では、地域ボランティアを活用した「バーゴマ」・季節感を取り入れた「お菓子づくり」・「防災体験」などが、利用者に高い評価を得た。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関する こと	アスクル申込書、パソコン申込書、入館表、わくわくプラザ申込書、子育て支援申込書、スポーツ保険申込書等の個人情報記載書類は鍵のかかる机に管理し、パソコン内の情報については、パスワードで管理している。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	利用者が安全に安心して活動できる場を提供するために、施設・設備の定期的な安全点検を行った。利用者の安全を確保するための避難訓練、防犯研修、応急手当研修を実施し、館内において応急手当の実技研修を実施した。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 15,163人 延べ団体利用数 3,372団体 (主な行事等) こども朗読クラブ 夏の終わりのこども祭り (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事) (特色のある行事) ジャグリング体験 (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事)	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 南菅小学校わくわくプラザ 登録者数 184人 延べ利用者数 7,385人 (主な行事等) むかしあそび月間 わくわく夏祭り  (特色のある行事) こども朗読クラブ座禅会 (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事) 2 西菅小学校わくわくプラザ 登録者数 188人 延べ利用者数 10,784人 (主な行事等) ひみつおやつ ハロウィンパーティー  (特色のある行事) こども朗読クラブ座禅会 (こども文化センター・わくわくプラザ合同行事)	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																																	
(3) 収支状況																																			
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>48,806,302</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>37,173,139</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,969,192</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回精算に伴う返納金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>48,102,165</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>704,137</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	48,806,302	支出	人件費	37,173,139		管理費	2,969,192		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		第2回精算に伴う返納金	3,000,000		合計	48,102,165		差引	704,137	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	48,806,302																																	
支出	人件費	37,173,139																																	
	管理費	2,969,192																																	
	事務経費	1,937,847																																	
	その他経費	1,436,042																																	
	青少年事業資産取得支出	909,090																																	
	減価償却引当資産取得支出	40,492																																	
	第1回精算に伴う返納金	636,363																																	
	第2回精算に伴う返納金	3,000,000																																	
	合計	48,102,165																																	
	差引	704,137																																	

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。